

平成30年度 基本事業評価シート (平成29年度実績評価)

政策 01 安全・安心に暮らせるまち
 施策 02 循環型社会の形成
 基本事業 02 再資源化への取組
 主管課： 生活環境課
 関係課：

1 基本事業の目的

対象 (誰, 何を対象としているか) 市民, 市内事業者	意図 (どのような状態にしたいのか) ごみの再資源化に積極的に取り組む。
---------------------------------	---

2 基本事業の成果状況 (意図の達成度を図る成果指標とその動向)

資源化率 (搬入量ベース) (%) 生活環境課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
19.60	17.90	17.60	18.01	19.00	20.00
向上指針	上がると良い	(状況) 市内から排出されたごみ・資源物全体 (集団回収含む) における資源化率 (搬入量ベース) は, 平成29年度17.6%となり, 前年度及び基準値を下回る結果となりました。 (原因) 缶・生ごみは増加したものの, 古紙類が60 t (6%減), 集団回収が18 t (2.0%減) と減少し, 資源物量全体で53 t (1.5%減) 減少したこととごみ分が12 t (0.1%増) 微増したことによって0.3ポイント下がってしまいました。新聞・雑誌の発行量自体が下がっていること, また古紙類の抜き取り等も少なからず影響があったと思われます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

集団回収に協力している又は取り組んでいる市民の割合 (%) 生活環境課					
基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
49.10	43.30	42.00	50.00	50.00	50.00
向上指針	上がると良い	(状況) 平成29年度指標値は前年度比で1.3ポイント減となり, 基準値からも7.1ポイント下降してしまいました。 (原因) 市が活動を助成する集団回収団体数は, 29年度61団体と昨年度より4団体増え実施回数も588回と昨年度より62回 (11%増) 増えたにもかかわらず回収量は減少している。 更には, アンケート結果を見ると, 居住年数10年未満の方の参加率が20%台にとどまっていること (昨年度は5年以上の方は軒並み40%以上だった) が原因に挙げられます。地域コミュニティとの関わりの減少が影響していることも考えられます。			
対前年度	横ばい				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

